

平成30年度 事業報告及び決算

《平成30年度事業報告》

1. 環境保全整備事業

(1) 植樹活動支援事業

- ・全国47ヶ所で約16千本植樹（累計で116万本）。
- ・地方自治体、市民団体、NPO等と連携し、また三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の拠点の紹介を通じて、地域社会貢献として相応しい樹木寄贈案件を推進。
- ・寄贈対象分野は、水源・河川流域、及び学校、公園等公共施設を重視。

寄贈対象	件数	本数
福祉施設	10ヶ所	761本
公園・広場	8ヶ所	2,661本
学校・幼稚園	9ヶ所	781本
水源・河川流域	5ヶ所	5,855本
里山保全	6ヶ所	1,470本
病院・その他公共	9ヶ所	4,579本
合計	47ヶ所	16,107本

○主要案件：

北海道「虹別コロカムイの会」、宮城県「牡蠣の森を慕う会」、栃木県「足尾に緑を育てる会」
「日本ボーイスカウト栃木県連盟」、千葉県浦安市「うらやす絆の杜植樹祭」、神奈川県「丹沢の緑を育む集い実行委員会」、川崎市「市民100万本植樹運動」、愛知県「愛知県植樹祭(安西市)」
「どんぐり交流会植樹祭」、京都市「小倉山森林再生事業」、大阪府「共生の森づくり」「ゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会」、福井県鯖江市「NPO法人エコプラザさばえ」等

○東日本大震災復興支援案件：

仙台市「ふるさとの杜再生プロジェクト」、岩手県野田村「のだ千年の松植樹祭」、宮城県亘理町「NPO法人わたりグリーンベルトプロジェクト」

(2) 学校ビオトープづくり支援事業

- ・専門指導員を擁する(公財)日本生態系協会(対象地域:全国)、(公社)大阪自然環境保全協会(関西)、ビオトープ・ネットワーク中部(東海)、(公財)埼玉県生態系保護協会(関東)と提携し、以下の学校で実施。
- ・青森県／青森中央短期大学付属第一幼稚園、宮城県／気仙沼市立面瀬小学校、埼玉県狭山市／風の森狭山台みどり幼稚園、愛知県／知立市立知立南小学校、名古屋市立植田幼稚園、滋賀県／大津市立逢坂小学校、大阪府／富田林市立錦郡幼稚園、兵庫県／姫路市立白鷺小中学校 の8校。
累計で137校。

(3) 里山保全支援事業

- 新規支援先：愛知県豊田市「とよた自然わくわくクラブ」（平成30年度～32年度）
：大阪府茨木市「鉢伏山森づくりの会」（同上）

：静岡県掛川市「子供の森支援の会」（同上）

○現在の支援先7ヶ所：

- ・川崎市「小沢城址里山の会」（最終年度 年度活動回数 30 回／1 回当たり参加人数 11 名）、大阪府四条畷市「なわて山守隊」（最終年度 20 回／15 名）、埼玉県小川町「小川町里山クラブ you-you」（14 回／22 名）、千葉県市原市「地域応援団 川島会」（15 回／11 名）、愛知県豊田市「とよた自然わくわくクラブ」（23 回／9 名）、大阪府茨木市「鉢伏山森づくりの会」（16 回／10 名）、静岡県掛川市「子供の森支援の会」（25 回／8 名）

2. 環境教育事業

(1) 「みどりの絵コンクール」の開催

- ・第43回「みどりの絵コンクール」は、「みどりの絵」「わたしが守りたい身近な自然」の両部門に全国から2万3,066点の応募あり（累計約138万点）。
- ・一次審査（10/12）、本審査（10/26）を経て、環境大臣賞を含む最優秀賞9点、優秀賞34点、入選385点を選定。最優秀賞受賞者9名と家族が出席して表彰式を東京都内で開催（12/8）。

○入賞作品の展示状況

- ・12月の表彰式に合わせて、毎日新聞全国紙や毎日小学生新聞に最優秀賞9点を掲載。また、ホームページ上に入賞者の全氏名と最優秀賞9点及び優秀賞34点を掲載。
- ・新宿御苑インフォメーションセンター内アートギャラリーで6日間（5/2～5/6）、第42回最優秀賞、関東地区（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）の優秀賞及び入選を展示。
- ・三菱UFJ銀行の営業拠点を活用して第42回入賞作品を展示～大阪営業部（8/6～8/17）

(2) 大学向け寄附講座の開講

- ・筑波大学の初年度講座開講(全学3・4年生対象)

【前期・春学期】

- ・講義科目：「地球環境変動と地球規模課題の科学論」
～受講登録者数約100名、10講義(4月～6月)
- ・実習科目：生命環境科学実習A(実験・フィールドワーク、9/9～9/15)
～「海と山の生物の生態と多様性」の調査・分析、受講生10名
～実習場所：筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所及び下田臨海実験センター

【後期・秋学期】

- ・講義科目：「地球変動影響と持続可能社会構築の科学技術論」
～受講登録者数約50名、10講義(10月～12月)
- ・実習科目：生命環境科学実習B(海外研修、8/15～8/25)
～ワークショップのテーマ「環境変動と藻類の進化」、受講生1名(応募者8名から選考)
～実習場所：中国・広東省 汕頭大学

【公開シンポジウム】

- ・国際シンポジウム開催(英語、9/20) 出席者約30名
- ・国内シンポジウム(日本語、1/29) 出席者約50名

(3) 地球環境問題映画会の開催

- ・名古屋市科学館で「第25回生きている地球の記録」映画会開催（7/22）。
「グリーンイメー国際環境映像祭2018」の入賞作品6本を無料上映し、247名来場。
- ・大阪歴史博物館でも、第6回大阪映画会開催（8/26）。同映像祭の入賞作品5本を無料上映し、

215名来場。

(4) 啓発図書の発行

○新規発行

- ・「大阪の里山 四季の生きものたち100」3千部発行
～編集協力：(公社)大阪自然環境保全協会、編集：(株)地域環境計画 大阪支社
～発行金額：5,680,400円(うち中間金2,160,000円は、昨年度支払済み)
～配布先：(公社)大阪自然環境保全協会 1,000部
大阪府(環境農林水産部みどり推進室) 1,000部
(公財)日本野鳥の会大阪支部 50部、近畿地方の図書館等 442部 等

○既存図書提供

- ・「樹の本」等の図鑑シリーズ 1,275冊、中部関連ガイドブック 1,664冊、「東京の環境指標種100」38冊

3. 体験活動事業

(1) 水源の森事業～ 公益的機能を重視した市民参画型の森づくり

- ・今年度は公募の「自然ふれあい楽習」3回を含む5回開催。延べ参加者211名。
～参加者層に合った各種プログラム内容(林業体験、自然観察会等)を提供。うち1回が子供向けの体験学習イベント。
- ・肥料木植栽地(ならまた体験活動の森)では、例年通り間伐・下刈作業等の林業体験実施。
- ・オープン以来22年経過。開催イベント数累計170回、延べ参加者累計9,338名

(2) 東海地区3県みどりの少年団「サマージャンボリー」の開催

- ・第43回サマージャンボリーを、国土緑化推進機構、愛知・三重・岐阜3県の緑化推進委員会及び協会との共催で、愛知県「愛知県民の森」で開催、参加者109名。
- ・2泊3日(8/6～8/8)で、飯ごう炊飯、講話(森の話、雅楽の話)、木工体験、水遊び、キャンプファイヤー等

なお、平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しないものとします。

以上

平成30年度正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I.一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	14,441,880	17,072,101	▲ 2,630,221	償却原価額+35,360円
受取寄付金	55,000,000	55,000,000	0	
雑収益	2,781	3,972	▲ 1,191	
経常収益計	69,444,661	72,076,073	▲ 2,631,412	
(2) 経常費用				
① 事業費				
環境保全整備事業	24,556,625	24,687,077	▲ 130,452	
樹木寄贈費	11,596,015	12,534,919	▲ 938,904	
里山保全助成金	2,100,000	2,100,000	0	
学校ビオトープ助成金	1,754,938	1,410,849	344,089	
学校ビオトープ指導料	200,000	175,000	25,000	
給与手当	6,724,315	5,991,655	732,660	
法定福利費	1,076,079	939,482	136,597	
旅費交通費	765,377	1,167,815	▲ 402,438	
諸謝金	180,000	180,000	0	
雑費	159,901	187,357	▲ 27,456	
環境教育事業	27,014,208	26,238,500	775,708	
大学向寄附講座助成金	3,000,000	3,000,000	0	
給与手当	4,681,768	4,827,203	▲ 145,435	
法定福利費	639,836	468,642	171,194	
旅費交通費	344,976	266,064	78,912	
通信運搬費	2,050,407	2,095,529	▲ 45,122	
臨時雇賃金	714,000	717,500	▲ 3,500	
印刷製本費	4,610,296	3,241,405	1,368,891	※「大阪の里山 四季の生きものたち100」製作費 3,520,400円
委託費	1,997,204	2,096,721	▲ 99,517	
後援負担金	540,000	540,000	0	
賞品費	4,354,359	4,625,197	▲ 270,838	
会場費	1,466,413	1,477,936	▲ 11,523	
表彰者・旅費交通費	182,160	174,430	7,730	
備品・消耗品費	6,642	75,481	▲ 68,839	
賃借料	688,704	731,904	▲ 43,200	
広告宣伝費	321,948	316,872	5,076	
上映会場使用費	114,860	112,140	2,720	
諸謝金	960,000	1,060,000	▲ 100,000	
雑費	340,635	411,476	▲ 70,841	
体験活動事業	8,040,074	8,359,912	▲ 319,838	
サマージャンボリー負担金	750,000	750,000	0	
給与手当	3,915,651	4,394,468	▲ 478,817	
法定福利費	626,524	701,449	▲ 74,925	
旅費交通費	1,134,384	1,013,256	121,128	
臨時雇賃金	276,000	210,000	66,000	
委託費	530,000	530,000	0	
備品・消耗品費	12,026	10,023	2,003	
貸切バス費	448,350	449,360	▲ 1,010	
支払保険料	60,059	55,846	4,213	
雑費	287,080	245,510	41,570	
事業費計	59,610,907	59,285,489	325,418	
② 管理費				
役員報酬	1,368,528	1,857,288	▲ 488,760	
給与手当	6,039,137	5,434,993	604,144	
法定福利費	983,511	786,409	197,102	
旅費交通費	309,540	409,293	▲ 99,753	
通信運搬費	392,504	397,608	▲ 5,104	
備品・消耗品費	701,324	471,513	229,811	
賃借料	1,462,274	1,595,987	▲ 133,713	
会議費	366,480	445,579	▲ 79,099	
監査報酬	648,000	648,000	0	
諸会費	185,200	187,200	▲ 2,000	
雑費	495,516	1,119,624	▲ 624,108	
管理費計	12,952,014	13,353,494	▲ 401,480	
経常費用計	72,562,921	72,638,983	▲ 76,062	
当期経常増減額	▲ 3,118,260	▲ 562,910	▲ 2,555,350	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 3,118,260	▲ 562,910	▲ 2,555,350	
一般正味財産期首残高	298,836,015	299,398,925	▲ 562,910	
一般正味財産期末残高	295,717,755	298,836,015	▲ 3,118,260	
II.指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	19,926,142	22,452,050	▲ 2,525,908	償却原価額+75,309円
受取寄付金	55,000,000	55,000,000	0	
一般正味財産への振替額	▲ 68,304,638	▲ 70,889,980	2,585,342	
当期指定正味財産増減額	6,621,504	6,562,070	59,434	
指定正味財産期首残高	1,823,452,308	1,816,890,238	6,562,070	
指定正味財産期末残高	1,830,073,812	1,823,452,308	6,621,504	
III.正味財産期末残高	2,125,791,567	2,122,288,323	3,503,244	

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I.資産の部			
1.流動資産			
現金預金	34,190,182	36,858,462	▲ 2,668,280
未収金	6,007,877	6,493,217	▲ 485,340
流動資産合計	40,198,059	43,351,679	▲ 3,153,620
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金(指定正味財産)	38,210,857	106,664,662	▲ 68,453,805
定期預金(一般正味財産)	829,400	829,400	0
有価証券(指定正味財産)	1,791,862,955	1,716,787,646	75,075,309
有価証券(一般正味財産)	241,867,407	241,832,047	35,360
基本財産合計	2,072,770,619	2,066,113,755	6,656,864
(2)特定資産			
分収育林「水源の森」	12,822,889	12,822,889	0
特定資産合計	12,822,889	12,822,889	0
固定資産合計	2,085,593,508	2,078,936,644	6,656,864
資産合計	2,125,791,567	2,122,288,323	3,503,244
II.負債の部			
1.流動負債			
流動負債合計	0	0	0
2.固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III.正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	1,830,073,812	1,823,452,308	6,621,504
指定正味財産合計	1,830,073,812	1,823,452,308	6,621,504
(うち基本財産への充当額)	(1,830,073,812)	(1,823,452,308)	(6,621,504)
2.一般正味財産	295,717,755	298,836,015	▲ 3,118,260
(うち基本財産への充当額)	(242,696,807)	(242,661,447)	(35,360)
(うち特定資産への充当額)	(12,822,889)	(12,822,889)	0
正味財産合計	2,125,791,567	2,122,288,323	3,503,244
負債及び正味財産合計	2,125,791,567	2,122,288,323	3,503,244

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- ① 有価証券の評価基準及び評価方法
保有している有価証券は全て満期保有であり、その評価基準は償却原価法(定額法)を採用している。
- ② 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産・・・定率法を採用している。
- ③ 消費税等の会計処理
税込方式を採用している。

2. 重要な会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高 (単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金(指定正味財産)	106,664,662	38,210,857	106,664,662	38,210,857
定期預金(一般正味財産)	829,400	829,400	829,400	829,400
有価証券(指定正味財産)	1,716,787,646	250,051,234	174,975,925	1,791,862,955
有価証券(一般正味財産)	241,832,047	35,360	0	241,867,407
小 計	2,066,113,755	289,126,851	282,469,987	2,072,770,619
特定資産				
分収育林「水源の森」	12,822,889	0	0	12,822,889
小 計	12,822,889	0	0	12,822,889
合 計	2,078,936,644	289,126,851	282,469,987	2,085,593,508

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 (単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金(指定正味財産)	38,210,857	38,210,857	0	0
定期預金(一般正味財産)	829,400	0	829,400	0
有価証券(指定正味財産)	1,791,862,955	1,791,862,955	0	0
有価証券(一般正味財産)	241,867,407	0	241,867,407	0
小 計	2,072,770,619	1,830,073,812	242,696,807	0
特定資産				
分収育林「水源の森」	12,822,889	0	12,822,889	0
小 計	12,822,889	0	12,822,889	0
合 計	2,085,593,508	1,830,073,812	255,519,696	0

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益 (単位:円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
国債	346,815,045	356,080,500	9,265,455
地方債	64,915,317	66,249,550	1,334,233
社債	1,622,000,000	1,664,177,400	42,177,400
合 計	2,033,730,362	2,086,507,450	52,777,088

※銘柄別の内訳は、財産目録の欄外脚注をご参照下さい。

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益の振替額	13,304,638
受取寄付金の振替額	55,000,000
合 計	68,304,638

11. 金融商品の状況に関する注記

- ① 金融商品に対する取組方針
当財団は、公益目的事業及び管理業務の財源の相当部分を運用益によって賄うため、債券により資産運用を行っている。
なお、仕組債等の投機的取引は行わない方針である。
- ② 金融商品の内容及びそのリスク
投資有価証券は、円建て債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスク等にさらされている。
- ③ 金融商品に係わるリスク管理体制
○ 資金運用規定に基づく取引
金融商品の取引は、当財団の資金運用規定に基づき行っている。
○ 信用リスク及び市場価格変動リスクの管理
円建て債券については、発行体の信用状況及び時価を定期的に把握し、理事長に報告している。
金融商品の明細や運用状況については、理事会に報告している。

以上

附属明細書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している

2. 引当金の明細

該当なし

以上

財産目録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金	普通預金	運転資金	14,190,182	
		三菱UFJ銀行東京営業部			
	定期預金	三菱UFJ銀行東京営業部	運転資金	20,000,000	
	未収金		利付国債等の未収利息	6,007,877	
流動資産合計				40,198,059	
(固定資産)	基本財産	定期預金(指定正味財産)	三菱UFJ銀行東京営業部	公益目的保有財産、及び公益目的事業に必要な管理業務の用に供する財産であり、運用益の60%を公益目的事業、40%を管理業務の財源としている	38,210,857
		定期預金(一般正味財産)	三菱UFJ銀行東京営業部		829,400
		有価証券(指定正味財産)	利付国債他		1,791,862,955
		有価証券(一般正味財産)	利付国債他		241,867,407
	特定資産	分収育林「水源の森」	群馬県利根郡みなかみ町藤原大利根 国有林64林班い、ろ、は小班	公益目的保有財産であり、体験活動事業である「水源の森」事業に使用されている	12,822,889
固定資産合計				2,085,593,508	
資産合計				2,125,791,567	
流動負債合計				0	
固定負債合計				0	
負債合計				0	
正味財産				2,125,791,567	